

報道機関各位

博物館美術館管理課

見えないところをあの手この手で覗いてみた

科学の眼で見る 美ら海の生き物展

Explore Okinawan Marine Life Through the Lens of Science

沖縄県立博物館・美術館（おきみゅー）では、4月2日（火）から「科学の眼で見る美ら海の生き物展」を開催します。

「見えないものを見てみたい」そんな思いから、人間は様々な“科学の眼”を発明してきました。本展では“科学の眼”の一部である CT スキャナー、電子顕微鏡、水中エコーなど、先進の映像化技術を駆使して、美ら海の生き物たちの肉眼では決して見ることのできない驚きの世界をご紹介します。

特殊撮影による肉眼を超えた映像を写真で紹介し、実際に撮影に用いた機器や、数々の新種生物を発見してきた小型潜水機（ROV）の展示も行います。

つきましては、本展の開催を記念し、4月2日（火）9時30分から開会式を開催いたします。何卒、開幕取材にご協力いただきたく、よろしくお願い申し上げます。

【開会式概要】

日時：令和 6 年 4 月 2 日（火）9:30～10:30（9:15 受付）

場所：沖縄県立博物館・美術館 3階（博物館企画展示室前）

スケジュール：1. 主催者あいさつ

湧川 盛順（一般財団法人沖縄美ら島財団 専務理事）

2. 展示解説

宮本 圭（一般財団法人沖縄美ら島財団 総合研究所 動物研究室）

※敬称略



カマストガリザメ (CT スキャナー)
CT スキャナーを用いれば、物体を透過する性質のある「X線」で物体を壊すことなく内部構造を調べることができます。



ジンベエザメの鱗 (電子顕微鏡)
光よりも波長の短い「電子線」をあてることで、より小さな構造まで観察が可能としたのが電子顕微鏡です。



ジンベエザメの心臓 (水中エコー)
超音波で物体内部を観察する水中エコーを使えば、生き物にダメージを与えることなく、体内の様子を観察することができます。



バラハナダイ (蛍光撮影)
一部の魚は青色の光をあけると様々な色の蛍光を返します。青い光しか届かない深い海の底では、魚達は私達の見たことのない姿をしているのかもしれない。

※ 広報用画像をご希望の方は  a-uechi@okichura.jp (上地) へご連絡下さい。

【展覧会概要】

展覧会名：「科学の眼で見る美ら海の生き物展」

会期：2024年4月2日〔火〕～5月6日〔月〕

主催：一般財団法人 沖縄美ら島財団

場所：沖縄県立博物館・美術館 3階 博物館企画展示室

観覧料：無料

開館時間：9:00～18:00 (金・土は20:00) ※最終入場は閉館の30分前まで

休館日：毎週月曜日、4月30日〔火〕 ※ただし4月29日〔月〕、5月6日〔月〕は開館

【お問合せ先】

沖縄県立博物館・美術館 指定管理者 (一財) 沖縄美ら島財団

企画班 広報営業担当 (上地・金城) 【TEL】098-941-1232 / 【FAX】098-941-2392